

行政事業レビュー点検結果の平成31年度予算概算要求への反映状況（集計表）

（単位：事業、百万円）

所管	一般会計 + 特別会計					一般会計					特別会計													
	平成29年度 実施事業数	「廃止」		「縮減」		平成29年度 実施事業数	「廃止」		「縮減」		「廃止」「縮減」計		平成29年度 実施事業数	（参考） 31年度 要求額	平成29年度 実施事業数	「廃止」		「縮減」		「廃止」「縮減」計		平成29年度 実施事業数	（参考） 31年度 要求額	
		事業数	反映額	事業数	反映額		事業数	反映額	事業数	反映額	事業数	反映額				事業数	反映額	事業数	反映額	事業数	反映額			事業数
金融庁	26	-	-	5	▲31	1	26	-	-	5	▲31	5	▲31	1	2,181	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注1. 該当がない場合は「-」を記載し、負の数値を記載する場合は「▲」を使用する。

注2. 「行政事業レビュー対象事業数」は、平成29年度に実施した事業数であり、平成30年度から開始された事業（平成30年度新規事業）及び平成31年度予算概算要求において新規に要求する事業（平成31年度新規要求事業）は含まれない。

注3. 「廃止」、「縮減」及び「執行等改善」の考え方については、次のとおりである。

「廃止」：平成30年度の点検の結果、事業を廃止し平成31年度予算概算要求において予算要求を行わないもの（前年度終了事業等は含まない。）

「縮減」：平成30年度の点検の結果、見直しが行われ平成31年度予算概算要求において何らかの削減を行うもの（事業の見直しを行い、部分的に予算の縮減を行うものの、事業全体としては概算要求額が増加する場合も含む。）

「執行等改善」：平成30年度の点検の結果、平成31年度予算概算要求の金額に反映は行わないものの、明確な廃止年限の設定や執行等の改善を行うもの

（概算要求時点で「改善事項を実施済み」又は「具体的な改善事項を意思決定済み」となるものに限る。）

注4. 一般会計と特別会計の両会計から構成される事業については、一般会計及び特別会計ともに記入すること。事業によっては、一般会計と特別会計の両会計から構成されているものがあり、

一般会計と特別会計のそれぞれの事業数を合計した数が「一般会計+特別会計」欄の事業数と合わない場合がある。

注5. 「（参考）31年度要求額」は、行政事業レビューシートの作成・公表の対象となる事業（平成29年度実施事業、平成30年度新規事業、平成31年度新規要求事業）の要求合計額である。